



大 曾 公 園

再 整 備 基 本 計 画

概 要 版

令和 7 年 3 月

常 滑 市

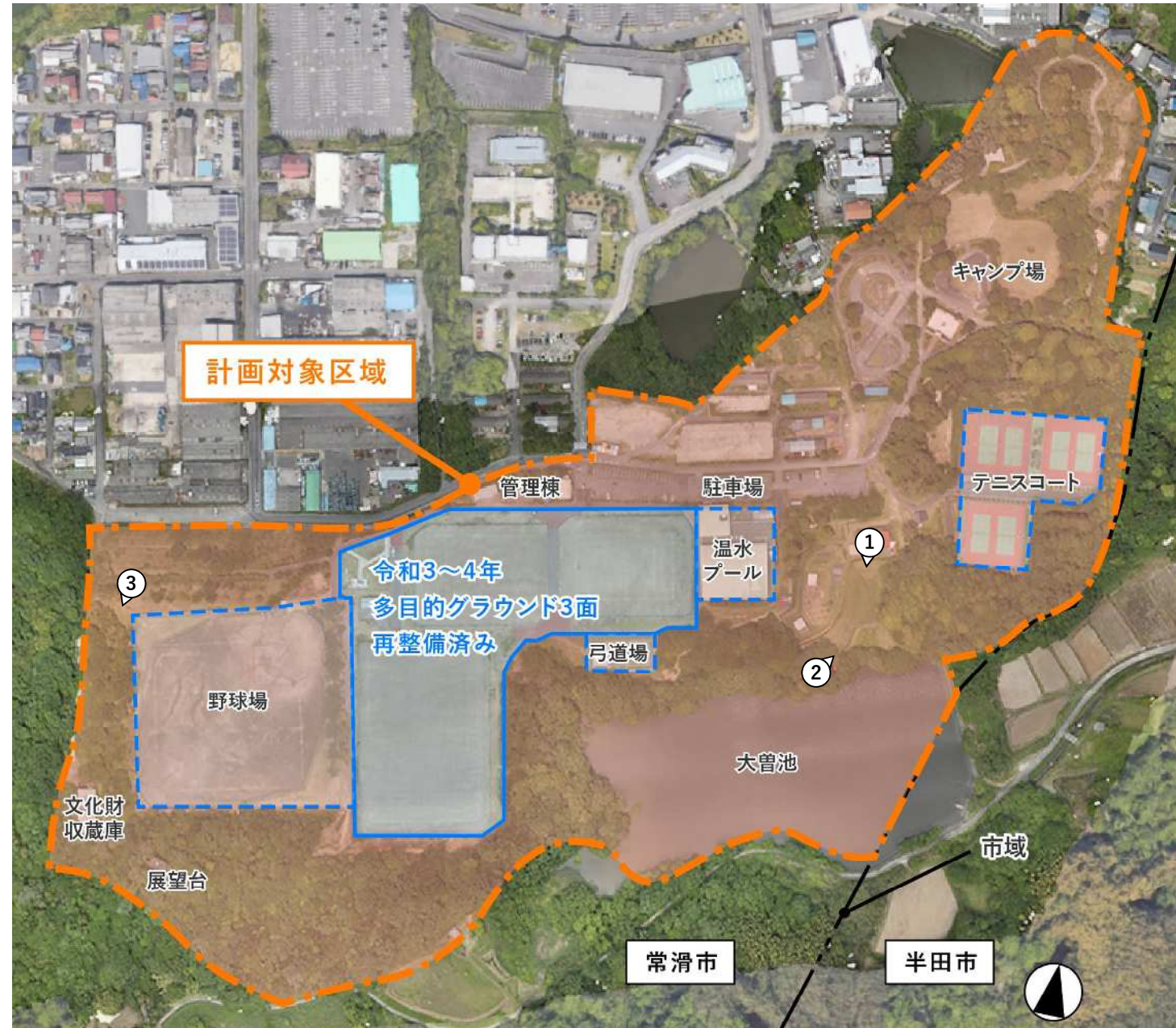
1 大曽公園再整備の目的

大曽公園は、市内で最大の面積を持ち、スポーツやキャンプ施設が充実した運動公園です。

一部の施設は再整備されているものの、そのほかの施設は老朽化が進んでおり、子供の遊び場が不足しているなど、公園全体としての魅力が低下している状況です。

また、公園外周部は、大曽池や四季を感じられるさまざまな樹木など、豊かな自然に囲まれています、これらの魅力を十分に活かしきれておらず、見通しが悪く薄暗い箇所が多いのが現状です。

このような状況を踏まえ、社会情勢や市民ニーズを捉え、本公園の魅力を最大限に生かし、にぎわいのある場所にするための再整備方針を示します。



① 大曽の谷と大曽池の様子



② 大曽池北側のモニュメント



③ 野球場西側の自然豊かな緑地空間

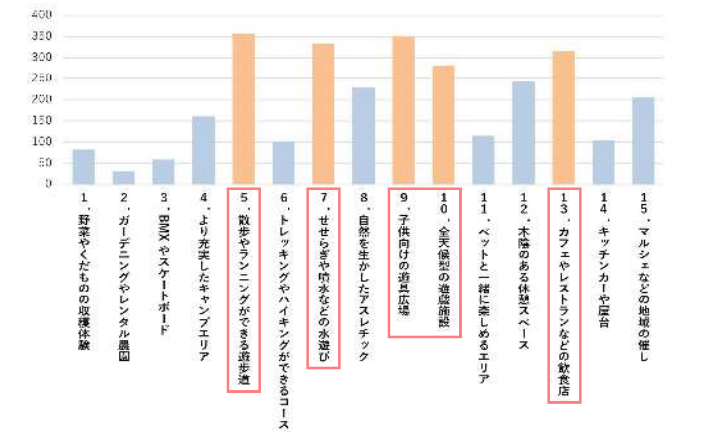
2 市民アンケート調査結果

本公園に対する現在の利用状況や、再整備への市民ニーズを把握するため、アンケート調査を実施しました。

現在の大曽公園の利用状況

- 月1回以上の頻度での利用者は1割以下
- スポーツ施設や温水プール、キャンプ場等の利用者がほとんど
- 約6割の利用者の滞在時間が2時間以下

Q. こんな活動ができるといいなと思うことを3つ選んでください。(n=2,997)



Q. どんな公園になるとよいと思いますか。(n=999)



3 再整備コンセプト

自然の中で楽しむアクティブパーク

～子育て世代に愛される、魅力あふれる公園へ～

多目的グラウンドや野球場、キャンプ場等今ある施設の老朽化対策を実施しつつ、新たな利用者層を意識し、自然の豊かさをベースとした大曽公園の新たな「顔」となる空間づくりを行います。

また、公園内の各ゾーンがつながる工夫を行い、公園を訪れた人々が、当初の来園目的とは違う利用方法や活動を発見し、「また来たい」と思うきっかけとなることを目指します。

4 再整備の基本方針

基本方針①

新たな魅力をつくる

低未利用地である温水プールとテニスコート間のスペースや野球場周辺のスペースを活用し、新たな利用者層を意識した空間づくりを行います。子育て世帯をターゲットとし、樹木や地形を生かした遊び場や水遊び等、親子で1日中公園を満喫できるよう多様な体験ができる計画とします。

基本方針②

現状の公園施設をより充実させる

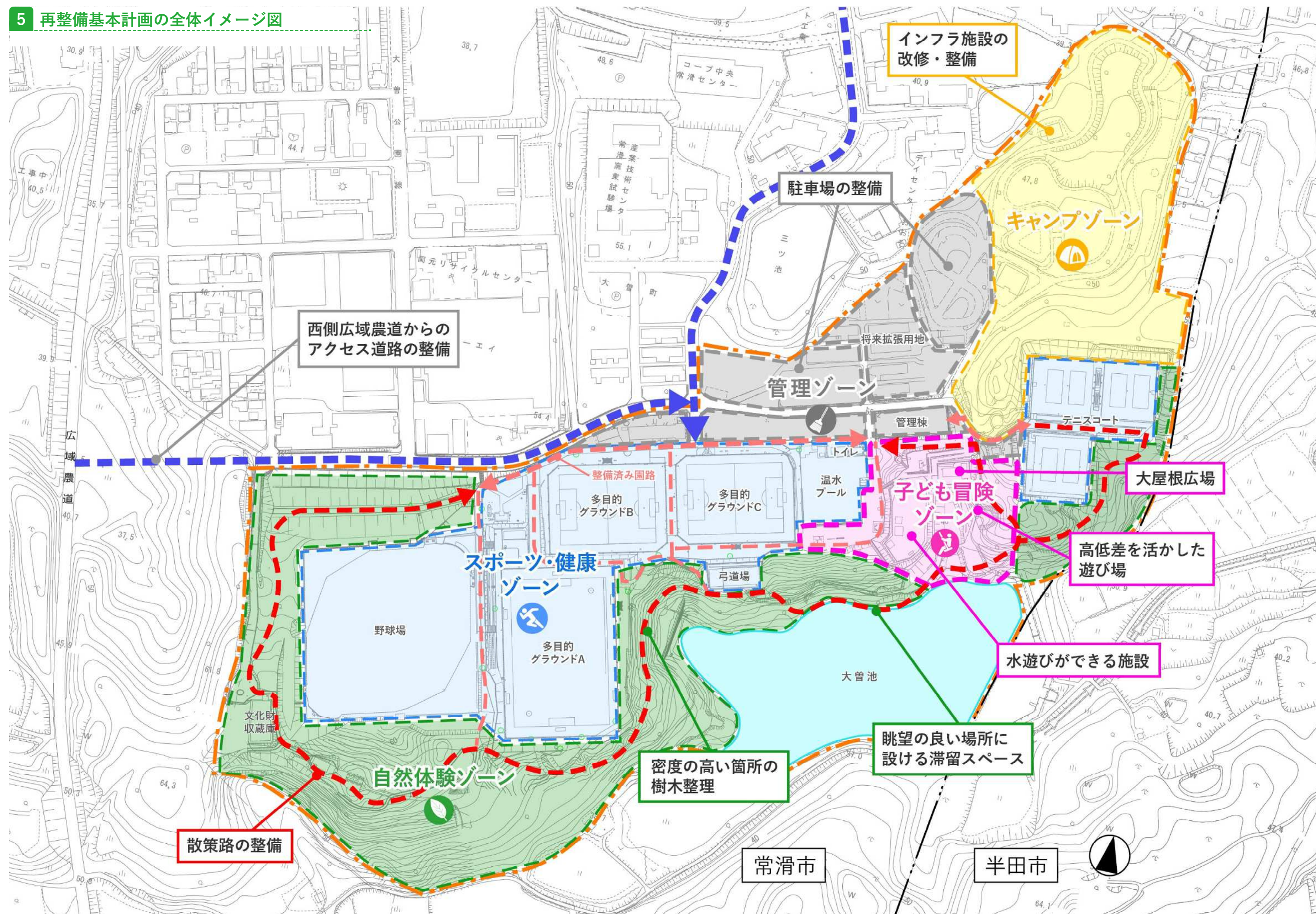
多目的グラウンドやテニスコート、野球場等、現在の施設を維持しながら、休養施設や便益施設など、今ある公園の魅力のさらなる充実を図ります。

基本方針③

回遊性・アクセス性を向上させる

再整備による利用者の増加に対応できるよう、また園内を分かりやすく安全に利用出来るように回遊性・アクセス性の向上を図ります。

5 再整備基本計画の全体イメージ図



6 ゾーン別計画概要



再整備事業の全体概要図

注：全体概要図はイメージであり、各施設のレイアウト等は変更となる場合があります。

子ども冒険ゾーン

大曽公園の「新たなにぎわいの核」として位置づけ、樹木や地形の活用によって、走る、登る、滑る等、身体をダイナミックに使って遊ぶことのできる大曽公園ならではの遊び環境の充実を図ります。

また、高低差の大きい谷地を活かしつつ、ある程度の平場を確保するための敷地造成を行います。

主な再整備内容

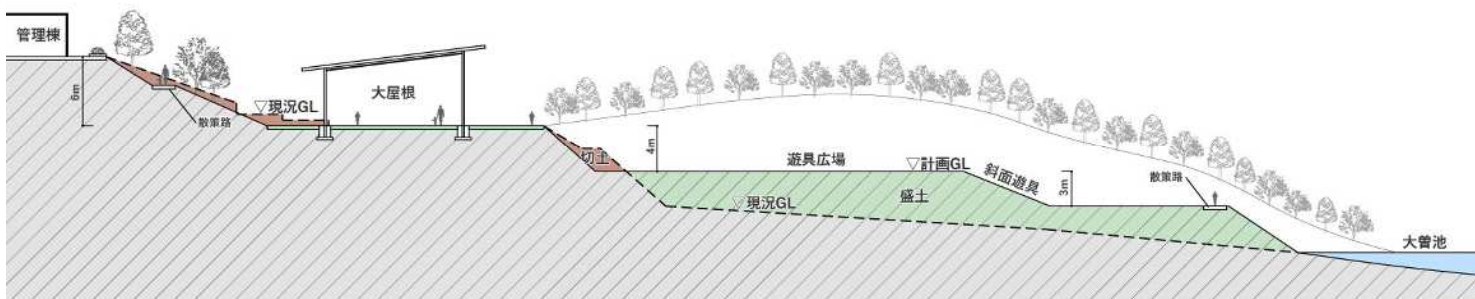
- 自然に溶け込んだアスレチック遊具
- 夏場に水遊びができる施設
- 高低差を活かした遊び場
- 大屋根のある遊び場
- だれもが楽しめる遊び場



自然に溶け込んだアスレチック遊具



地形を活かした滑り台



子ども冒険ゾーンの造成イメージ（南北）

自然体験ゾーン

約 500 本の桜や梅林、大曽池などの豊かな自然を楽しみながら園内を周遊したり、要所でアクティビティができる空間づくりを行います。

主な再整備内容

- 四季の変化を感じられる散策路の整備
- 密度の高い箇所の樹木整理
- 眺望の良い場所に設ける滞留スペース
- 野球場西側の有効活用
- 自然を活かした憩いの場の設置



密度の高い箇所の樹木整理

キャンプゾーン

キャンプ場のさらなる利用促進を目指し、アウトドア愛好者の多様なニーズに対応した機能の充実、駐車場の整備を図ります。

主な再整備内容

- キャンプエリアの充実
- より利用しやすい環境の整備
- インフラ施設の改修・整備
- 既存駐車場の改修



キャンプエリアの充実

運動ゾーン

運動公園の主要施設として、スポーツ利用以外にも広い空間を活かした柔軟な利用を行うとともに、観戦ができるスペースを充実させ、応援に来た人や一般の来園者もプレーを見て楽しめる空間づくりを行います。

主な再整備内容

- 既存施設の機能維持を基本とした施設改善
- 快適に観戦できる日よけ空間の整備



日よけ空間の整備

管理ゾーン

再整備による利用者の増加に対応できるよう、公園を利用する上でベースとなる機能の向上を図ります。

主な再整備内容

- 駐車場の増設
- 老朽化施設の更新（管理棟、トイレ等）
- 西側広域農道からのアクセス道路の整備



管理棟の更新

7 その他の計画概要

項 目

整 備 方 針



車両アクセスの強化

現在、車両による主な動線は、敷地北側の愛知県道 34 号半田常滑線からのみであり、その他方面からのアクセス手段を確保するため、敷地西側広域農道からアクセスが可能な道路の整備を検討します。



歩行者動線

歩行者動線は、バリアフリーに配慮しながら公園内側の各ゾーンをつなぐ「内側園路」と、高低差が大きく健康づくりのためのウォーキングルートとして活用しつつ、周辺の豊かな自然を巡る「外側散策路」の 2 つの動線を計画します。



駐 車 場 計 画

再整備による利用者の増加を考慮し、駐車可能台数及び利便性を高めるため、現況の砂利敷き駐車場及び、キャンプ場西側にある旧交通広場を駐車場として整備します。



サイン計画

サイン計画は、ユニバーサルデザインを基本とし、周辺景観との調和やデザインの統一化に配慮した計画を行います。また、利用者が快適に目的地まで到達できるよう、主要動線上に誘導案内看板等を整備します。



トイレ計画

子ども冒険ゾーン付近である温水プールに隣接するトイレに老朽化が見られるためリニューアルします。トイレは、誰もが快適に利用できるようバリアフリー対応とします。



管理・運営方針

< 指定管理者制度について >

行政が民間事業者等を指定管理者として指定し、使用許可を含む公の施設の管理権限を包括的に委託する制度です。

多様化する住民のニーズに効果的に対応するために、公の施設の管理に民間事業者のノウハウを活用し、住民サービスの向上とコスト削減を図ることを目的としています。

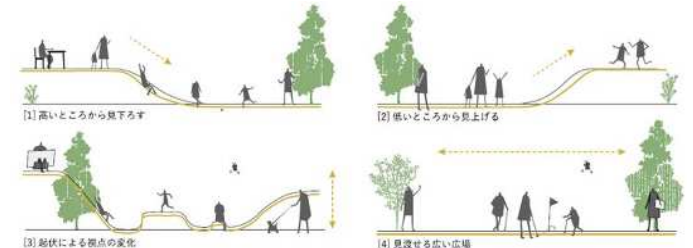


大曽公園でのイベントの様子

8 空間構成の考え方

(1) 高低差や植栽等を活かして空間を緩やかにつなげる

現況地形の高低差を活かした起伏により、空間を見渡す場を設けたり、起伏によって変化や面白みのある遊び場や散策路をデザインします。



高低差を活かした空間イメージ

(2) 空間をつなぐコミュニケーションの場のデザイン

異なる利用や活動がされている各空間を、休憩機能を兼ねた「たまり」でつなぎ、来園者がお互いの存在や行動を感じたり、知り合うきっかけとなる場を作ります。



「たまり」空間のイメージ

(3) 豊かな自然を保全しつつメリハリの利いた植栽計画

園内を薄暗い印象とさせている外周部に繁茂した雑木等を整理し、明るく見通しのよい空間を目指します。

また、ウォーキング等日常利用の促進を図るため、四季の変化を楽しむことができるよう外周部の植栽計画の見直しを図ります。



外周部の散策路イメージ

9 再整備スケジュール

本事業の事業完了までのスケジュールは下表のとおりです。

再整備に向け本計画策定後、各種調査から始まり、基盤整備、全体施設計画、各施設の基本設計、実施設計、再整備工事を進めてまいります。また現在、キャンプ場として利用されているグリーンスポーツセンターを大曽公園の区域として拡張を行う予定です。

再整備を進めていく上では、社会情勢や市民ニーズ等の変化に伴い柔軟に対応する必要があるため、事業の進捗管理を適宜行い、魅力ある公園づくりに取り組んでいきます。



